

要件定義の重要ポイントを解説

要件定義の進め方コース

システム開発には、業務の仕様を決定し、それに基づくシステムへの要求仕様を決める要件定義工程があります。しかし、属人的なスキルに頼っているため、経験の少ない技術者ではうまくかない、という問題が多数発生しています。このような問題を解決するため、データ総研は、要求定義から要件定義の作業ガイドである「要件定義ガイド」および、要件定義から設計工程の方法論である「DOA-RAD」を提供しています。これらのガイドや方法論は標準的なプロセスの進め方や、成果物の雛形で構成されています。

本コースでは、「要件定義ガイド」と「DOA-RAD」をもとに、弊社の経験とノウハウから要件定義の進め方と、ポイントを解説します。

前提条件(知識) : 特になし

対象者 :

- ・要件定義をどのように進めるべきかがわからない方
- ・要件定義工程で、どこまでのことを決めるべきか悩んでいる方
- ・要件定義段階の業務モデル作成をどうすべきか迷っている方
- ・どうしても開発要件が膨らんでしまうとことに問題意識を持っている方
- ・要件定義の標準化と技術者育成が課題となっている方

開催人数 : 3名～

受講料 : 10,000円/1名(税込)

時間・日数 : 14:00～17:15・半日間

受講内容 :

1. 要求定義と要件定義における考え方
 - ・システム開発案件失敗原因の大半は上流にある
 - ・要求定義と要件定義
 - ・目的指向のアプローチ
 - ・DOAの業務写像技術
 - ・要求定義と要件定義の全体概要
2. 要求定義の進め方と成果物
 - ・要求定義の重要事項「開発目的の明確化」
 - ・要求定義工程の進め方と成果物
 - ・問題分析に必要な手法「問題点関連図手法」
3. 要件定義の進め方と成果物
 - ・要件定義方法論「DOA-RAD」
 - ・要件定義工程の進め方と成果物
 - ・業務分析に必要な技法
4. まとめ